



学校だより

やまゆり



2022年2月号
令和4年1月31日
横浜市立大口台小学校
神奈川県大口仲町460

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/oguchidai/>

学校からのお知らせを学校HPで日々発信しています(担当:副校長)

コロナ禍でできるようになったこと

校長 平原 智美

昨年の夏休み過ぎから新型コロナウイルスの感染が再拡大し、学校は分散登校となりました。その期間はクラスの人数を半分にして授業を進め、学校での学びを止めないようにあらかじめ横浜市教育委員会より準備されていたipadを一人1台と充電コード1本を配付しました。そして、授業で子どもたちはipadの基本的な使い方を学んで、アプリのロイロノートも使いこなせるようになりました。ipadを使う頻度も増え、国語の漢字の練習や社会の調べ学習に利用したり、図工や理科の記録を写真で残したり、実験の結果を比較して考察したり、拡大してレンズのように使って観察したり、体育で動きの画像を撮り、自分たちの動きを振り返り、作戦を立てたりしました。学級活動ではアンケートを集計しました。6年生はLINEネット講座でコミュニケーションのとり方を学びました。このように、各教科でipadの様々な使い方を学ぶことができました。現在もipadを利用しながら、授業を展開しています。

今年になって新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が急拡大しているのです。いつ学級閉鎖、学校閉鎖、分散登校などが起きるかわからない状況です。今後、そのようなことが起きてしまった場合には児童が使い慣れたipadを利用して、ご家庭で学習する時間を確保していただきたいと思います。

これからも学校やご家庭での感染症対策は欠かせません。引き続き、気を緩めることなく、マスクの着用、手指の消毒、こまめな手洗い、3密の回避、室内の十分な換気など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

寒い日が続く、空気が乾燥して風邪も引きやすくなっていますので、十分な睡眠とバランスの良い食事など、健康管理にご協力ください。毎日の検温と健康観察票のご記入、ご提出もよろしくお願いいたします。みなさまと力を合わせて最小限に感染を抑えていきたいと節に願います。



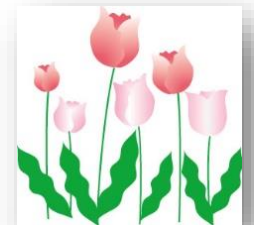
↑節分(せつぶん)

1月は書き初めの展示がありました・・・

1月は1年生と2年生が各教室でフェルトペンを使い、3年生から6年生は分担して体育館で毛筆を使い、それぞれの場所でお琴のバックミュージックを聞きながら、厳かな雰囲気の中で集中して心をこめて書き初めを行い、作品を1階の廊下に展示しました。1年生は「ふじ山」、2年生は「大きなゆめ」、3年生は「生きる力」、4年生は「明るい心」、5年生は「平和な国」、6年生は「将来の夢」の言葉を書きました。すべての作品が力強く、とてもすばらしかったです。

今、栽培している植物を紹介します・・・

1年生はチューリップを育てています。4月にきれいなお花をたくさん咲かせて、新一年生を迎えるために頑張っています。2年生はハツカダイコン、ホウレンソウ、カブ、コマツナの中から好きな種を1つ選んで栽培しています。今は、頑張っている水やりをして、小さな葉っぱが少しずつ増えていますが、日照時間が短いので育ちにくいようです。これからの成長が楽しみです。



見守り隊の募集について・・・

毎朝登校時間に、みなさんの登校を見守ってくださっている方は現在9名ほどいらっしゃいます。本当に毎日続けることは大変なことだと思います。改めて感謝申し上げます。10年ぐらい前は見守り隊の方が90名ほどいらしたそうです。そこまでの人数を目指しているわけではありませんが、子どもたちのために令和4年4月から見守り隊を引き受けてくださる方がいらっしゃいましたら、大口台小学校の副校長までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。(電話番号045-421-7428)

